

# 山海塾「時のなかの時 - とき」

STAGE  
9.27 ~  
(Sat)

歪みも老いも、身体に映る時はみな美し。

山海塾が創立 30 周年に発表した記念碑的作品。



舞踏カンパニー・山海塾の創立は今から33年前の1975年。白塗り・スキンヘッドとくれば「ああ、舞踏ね」と認知されるようになったのは、長い年月のあいだずっと絶えずに舞踏カンパニーが活動してきてきたから。中でもフランスに本拠地を置く山海塾は「BUTOH」を国際語にした功績も大きい。

がに股、猫背の日本人体型を醜く強調したような姿、震えたり痙攣したり這いずるような動きに、異想的な間合い。西欧的な身体観が強く若く均整の取れた身体を美とするのと真っ向か

ら反する陰影に満ちた身体の美を、日本の舞踏は世界に問うた。

いまや世界の映画祭に高い評価で切り込むアニメーションも、元はといえば「子どもが見るもの」と軽んじられていた下位文化からの逆襲だった。舞踏は醜さや歪みというネガティブな身体の逆襲。主宰の天児牛大(あまがつうしお)は御年59歳。白塗りの肌に刻まれる皺も、舞踏の舞台では作品を深める美の要素になっているはず。

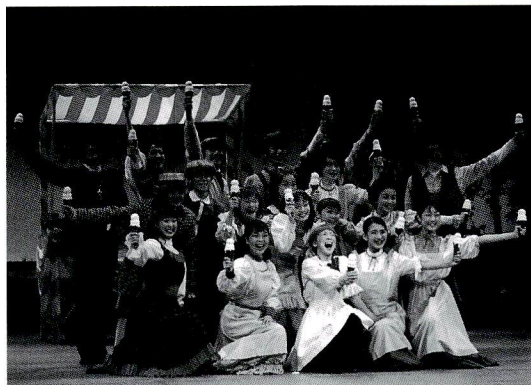
(沢田眉香子)

- 『山海塾『時のなかの時-とき』 ■ 9.27 (Sat)・9.28 (Sun) ■ 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 中ホール
- 開場13:30~ 開演14:00(両日とも)~ 一般5000円・青少年(25歳未満)3500円
- 問い合わせ 077-523-7136 (びわ湖ホール チケットセンター)

# ミュージカル「赤毛のアン」

STAGE  
9.6 ~  
(Sat)

お転婆ガールに憧れた、昔、少女だったあなたたちへ。



世界中で愛される物語「赤毛のアン」が出版されて、今年で100年目。その節目の年に、劇団四季創立55周年記念公演としてミュージカル「赤毛のアン」のアン・シャーリーが初入浴。特別番組や新装版の刊行、アニメDVDの販売に、記念切手発行…などに加えて、100周年に因んだイベントも多数開催され、いままさに再来している「アン・ブーム」。

アンをアンたらしめる、あの真っ直ぐさ、勝

気さ、日和らなさ。プリンス・エドワード島の暮らし、キラキラとした自然の美しさ、大切な家族や友だちと過ごした思い出。物語中のいくつものシーンを、フルカラーで脳内再現できる人も少なくないはず。

活字ではなく、アニメでもなく、舞台の上に繰り広げられる生身のアン。この秋、愛くるしい少女に会うなら、京都劇場に行く方が、カナダに行くより断然、早いし安い。(山田涼子)

- 『ミュージカル『赤毛のアン』
- 9.6 (Sat) ~ 10.11 (Sat)
- 京都劇場 (JR京都駅ビル内)
- 原作/ルルーシー・M・モンゴメリ 演出/浅利慶太
- S席9450円 A席7350円 B席5250円 C席3150円
- <http://www.shiki.gr.jp/applause/anne/index.html>

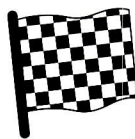
世界中で愛される物語「赤毛のアン」が出版されて、今年で100年目。その節目の年に、劇団四季創立55周年記念公演としてミュージカル「赤毛のアン」のアン・シャーリーが初入浴。特別番組や新装版の刊行、アニメDVDの販売に、記念切手発行…などに加えて、100周年に因んだイベントも多数開催され、いままさに再来している「アン・ブーム」。



「赤毛のアン」が出版されて、今年で100年目。その節目の年に、劇団四季創立55周年記念公演としてミュージカル「赤毛のアン」のアン・シャーリーが初入浴。特別番組や新装版の刊行、アニメDVDの販売に、記念切手発行…などに加えて、100周年に因んだイベントも多数開催され、いままさに再来している「アン・ブーム」。

# Kyoto Car-Moratorium

~京都人のクルマ知らず~



17th Lap



© QUATRE ILLUSTRATION

中島 崇 (なかしま たかひ)

68年生。自称「クルマのソムリエ」創業昭和38年。北沢は紫野の自動車屋(株)中島商会の二代目社長にして「安くいい車を探すとスバヤリスト」かつて自動車オタクシンの取引で200万円をドブに捨て、大失敗の連続から学んてノウハウをまとめた無料小冊子「その車に手を出すな!」も好評。中島流車道家元を目指す京都人。

## 自転車に、負けるなクルマ、どうだめ?

「クルマが2台以上駐車できる」という要素が、売れる住宅の条件の一つだそう。昔ながらの京都の住宅は「うなぎの寝床」だが、現代は「クルマの寝床化」でないと売れないというのだ。繁盛する店の条件も「女性にも停めやすい駐車スペースがあること」「無料駐車場があること」が、大きな要素で、確かに、多台数の駐車場を備えた大型ショッピングセンターやアミューズメント施設が賑わっている。マーケティング・データでも、消費者が行きたいと思う理由の上位は、サンデードライバーが入りやすく、駐車しやすい大きな駐車場があることだったりする。「売れる」「繁盛する」という言葉の裏に、「クルマ」というキーワードが関わってくる例である。

ところが最近、レギュラーガソリンの価格が180円を超えたことにより、普段クルマを何気なく使っていた人にも、「効率がよくクルマを使う」という意識が芽生えてきた。よって、よく話題になる。京都市内でもクルマのタイムシェアシステムの実験が行われ、今後も新しい使